

英語を楽しく

No. 5 1

28, April

☆ 英語の難しさは、英語の使い方を知ることかも
下の文は 同じ意味？それとも同じでない？

- ① I gave him a book.
- ② I gave a book to him.



I gave him a book. はね
I gave a book to him.

の2つの文で、確か「①の文は ②のように書き換えられます。」と学んだはず。
だけど、①と②は 英語の文意を入れて日本語にするとやはりちがいます。

① は「わたしは (他の何物でもない) 一冊の本を 彼にあげたのです。」

② は「わたしは (他の誰でもない) 彼に 一冊の本をあげたのです。」

となります。~~~~~ のところを話し手は特に意識して聞き手に伝えたかったのです。
ですから、①と②を日本語に訳すとき

「わたしは、彼に本をあげました。」や「わたしは、本を彼にあげました。」
と言っただけでは不十分と言えます。英米国の人には、はっきりと両者の違いを意識して使っています。{似ていても文の一部が違えば、やはり中身も違うのですね}

☆ 「どこですか」は “Where ~?” でいいですか？

『日本の首都はどこですか。』を英語にしなさい。」と学生の頃、先生に言われて、
“Where is the capital of Japan ?”

としたことはないでしょうか。そして、Where を What に変えたことはないですか？。

「なんで What ?」と言われそうですが、
それは「首都の名前」をたずねているからです。「どこ」と「どこへ」の違いを考えるとわかりやすいですね。

「日本の首都はどこですか。」 → “What is the capital of Japan ?”

「あなたはどこへ行くのですか。」 → “Where are you going to go ?”

「どこ？」と聞かれて Where で英文を考えてしまうのは日本人の共通点かも知れません。

子ども達、日頃、英語の文字の入った服をよく着ています。
でも、つづりを間違えた単語、英文としてはおかしい文、
そして、日本語にすると、
「えッ、そんなこと書いてるの！」
とあきれられるような文もあります。でも、英語のある服を着ている子
も服に書かれた英語を見ている子も、きっと英語好きになってくれる
のではないかな、と思っています。



Yoshi